

# 思いをこめて いきいきと

平成29年  
図工便り 11月号  
練馬区立大泉小学校  
図工専科 河村 泰正

## － 3年 コナから始まるわたしの世界 －

前回、はじめてののこぎりで好きな形に木を切りました。そのとき、切った木ではなく、木のコナを川や雪などに見立てて遊んでいた子供たち。一見、ただの木くずですが、子供にとっては魅力的な材料だと感じました。ですが量は少ない。そこで、ふだんにはない大量のコナに体育館という広い場で出会わせたら、きっと自分から表現する力をかき立てると思いました。木材屋さんをお願いをして、8種類の大量の木のコナをいただき、とても楽しそうにダイナミックに活動していました。



## － 4年 ライオンのたてがみ －

紙のガムテープを使ってライオンをかきました。紙ガムは、思ったように切れないし、長く切ろうとしたらとちゅうで切れてしまったりガムテープ同士がくっついてしまったり・・・トラブル続きです。ですが、よく形を見ると、一枚一枚面白い形をしていて、個性的です。今回は、切りながら偶然生まれるガムテープの形からイメージをふくらませ、自分なりのライオンのたてがみをペタペタとガムテープをはりながらかきました。くるくるパーマやストレートヘアなど好きな形のたてがみができました。



## － 5年 チェア デザイナー －

新しいデザインのイス作りもいよいよ完成に近づいてきました。あしができ座面ができ、いよいよ完成間近・・・今の段階でも個性的なイスですが、もっとイメージをふくらませるために、座面までイメージ通りにできたところで、座面にイメージとは全然違う形の背もたれをいろいろな角度で置いて見せました。「こういう置き方をしたら面白いね。」と話したところ、初めのイメージから考え直し、いろいろな形の組み合わせを考えて作っていました。



## － 6年 絵のある部屋 －

300枚くらいの絵の中から気に入った1枚を選び、絵をかいた作家の人物像を自分なりにイメージして、「絵の似合う部屋」を作りました。

「自分のお好みの部屋」をイメージすることは簡単です。ですが今回作る部屋は、自分で考えた作家のイメージに合っていなければいけません。「あっ、この材料いいな♪これでイスを作ろう。」と簡単に考えるのではなく、「この材料は、本当に自分が考えた作家のイメージに合っているだろうか。」ともう一歩もう二歩もう三歩、深く考えることで、一つ一つの家具などの形や色、素材や置き方などが決まります。難しいチャレンジでしたが、自分でよく考え、楽しみながら目の前の課題を乗り越えていく姿が素晴らしかったです。

